

橋梁架設現場における安全管理支援システムの開発

M1 中野克哉

1. メンバー紹介

- ・ 小西日出幸（日本橋梁（株），山口大学大学院博士後期課程 3 年）
 - ・ 中野 克哉（山口大学大学院博士前期課程 1 年）
- （他，土木学会関西支部「橋梁施工情報のビジュアル化と共有化に関する研究」グループの皆様，関西大学の学生）

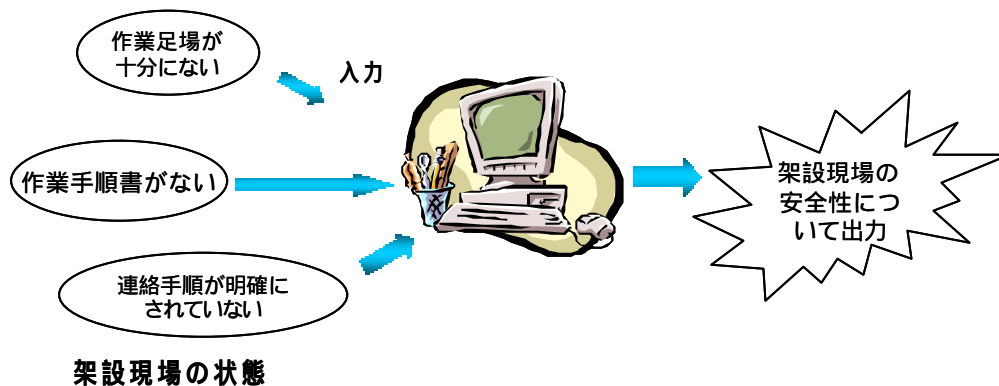
2. 研究の目的

橋梁架設中に発生する事故の事故要因を早期に発見し，未然に事故を防止するための架設作業時の危険度を予測するシステム（安全管理支援システム）の開発を目的としています．

3. 研究内容

橋梁架設に関する専門知識を組み込んだエキスパートシステムを用い，橋梁架設時における安全管理に関するシステム（安全管理支援システム）の開発を行っています．

安全管理支援システムは架設中に発生する重大事故の危険性を事前に予測するシステムです．橋梁架設に用いられる部材，機材等に着目し，実際の架設現場の状態と照らし合わせて推論（質問に答えしていく）を行い，最終的に架設現場の危険性を数値として示します．



4. 研究の特徴

本研究では，月に 1 度開かれる土木学会関西支部の研究グループの研究会に参加します．この研究会で橋梁架設の専門家の方々にシステムの評価をしていただき，ここで得た意見をシステム開発に役立てます．

5. 今後研究を進めていくにあたって

研究に配属後，本格的に研究に入る前に次のことをしていただきます．

- ・ Visual Basic 6.0 による基礎的プログラミングの習得
- ・ エキスパートシステムについての理解

他のことについては随時指示します．